

勉学の旗

(高須中学校だより)

令和元年6月12日号 高須中学校長 山口和久



修学旅行で感じたことを大切に

5月30日～6月1日の2泊3日、関西方面に修学旅行に行ってきました。

出発前の5月とは思えない暑さ、また光化学スモッグなど天候面で心配な面がありましたが、3年生の皆さんは大きく体調を崩すこともなく無事に行程を終え、帰校することができました。

ただ、どの見学地もとても人が多かったです。私はここ4年連続で修学旅行の引率をしていますが、10年前に比べてどの観光地も爆発的に観光するお客さんが増えています。「インスタ映え」するところは特にです。観光客がとて多くなると、宿泊するホテルも同様です。今、修学旅行生が泊まる宿泊施設は、ほとんどビジネスホテルタイプになっています。我々が今回泊まったホテルは2つともそれで、しかも結婚式場があるような立派なホテルでした。

見学地は、1日目奈良(薬師寺・東大寺・興福寺)、2日目京都(伏見稲荷・清水寺から班別研修)、3日目兵庫(姫路城・神戸南京町)でした。相変わらず人をひきつける薬師寺のお坊さんのお話。東大寺の専属ガイドさんは名物のベテランの方々から代替わりして、若いのに多分本当に一生懸命に勉強しており、我々を天平から鎌倉時代まで引き込んでいきます。興福寺は開館時間を過ぎての貸切での見学です。生徒の皆さんに「阿修羅像」の素晴らしさがどう映ったでしょうか。伏見稲荷は今流行のスポットです。たくさんの鳥居が圧巻です。姫路城は数年前に修復が終わり、白漆喰(しろしゅい)が見事で城の雄大さを引き立てます。

出発前に生徒の修学旅行実行委員長さんと話をする機会がありました。修学旅行で何が一番楽しみか聞いてみると、彼は「歴史が好きなので、歴史的な建造物をじかに見るのが楽しみです。」と答えました。楽しいことは人それぞれなのでしょうが、私は見学地が楽しみであるという彼のその答えが、正直、ちょっと嬉しかったです。

3年生の皆さんは、今回の修学旅行で何を感じたでしょうか。歴史的な建造物や町のつくりは何を感じたでしょうか。同じ学年の生徒の皆さんとの3日間の旅行で、何を感じたでしょうか。すごいものはすごい。美しいものは美しい。そんなことを素直に感じ、そしてその感じたことを大切にしてほしいと思います。

このような貴重な体験を3年生にさせていただいたことに、今回の修学旅行に関わってくださったすべての方々(保護者の方々も含めて)に感謝いたします。

また、3年生の皆さんが、この修学旅行を通して考えたことをもとに、一段と成長することを期待しています。

以下、生徒の感想文の一部を掲載します。

- 三十三間堂がすごかった。たくさんの金色の仏像(?)があって、どこか違う世界に迷い込んでしまったような気持ちになった。
- 修学旅行の行動で、たくさんの人がいっしょに動くことの大変さが分かりました。でもだんだんと声をかけたり自分から静かに並ぶ人が増えたのでそこが成長できたと思います。
- 天を突くように威風堂々とそびえる白く輝く大天守、別名「白鷺城」とも呼ばれていることを初めて知りました。世界でもトップクラスの美的完成度を誇る姫路城に感動してとても印象に残りました。
- 実際に京都を回っていて、京都には福岡と違ったよさがあってとても良かったです。
- 東大寺で大仏があってびっくりしたけど、あんまりでかくて迫力がありました。(この文章は3年6組の生徒の感想です。)

☆ 紙で配布したものには、【東大寺 大仏殿の前で ガイドさんの話を聞く】の写真を掲載しています。